

経営比較分析表（令和5年度決算）

兵庫県 多可町

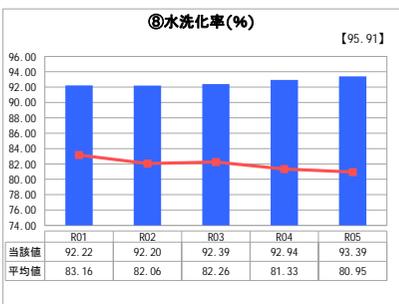
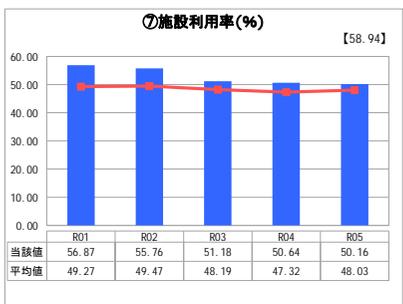
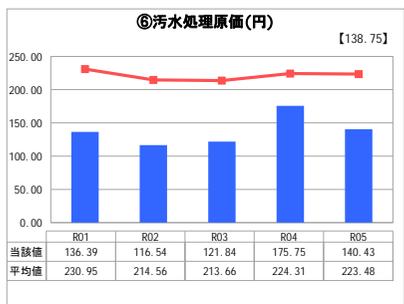
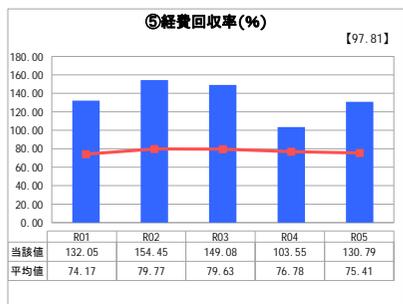
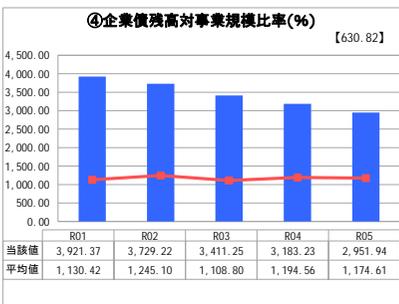
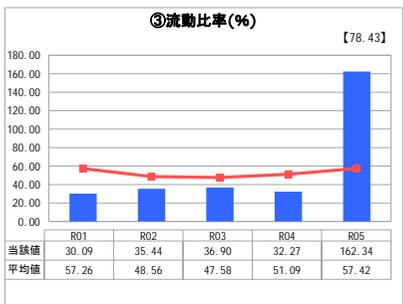
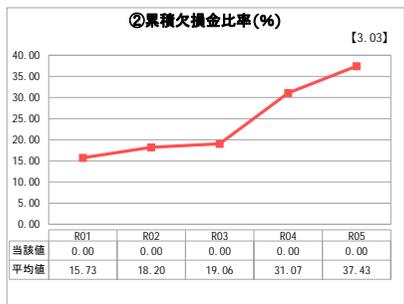
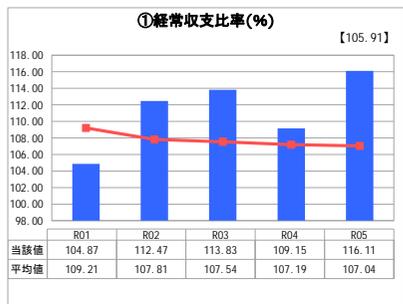
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	50.40	36.11	87.09	3,795

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
18,966	9.13	2,077.33
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
6,822	3.25	2,099.08

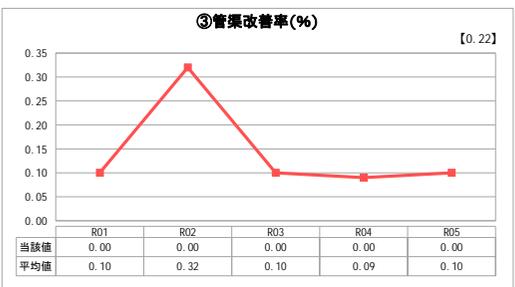
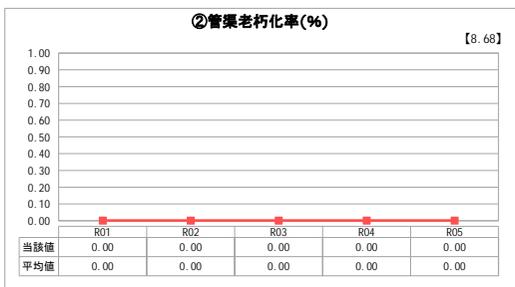
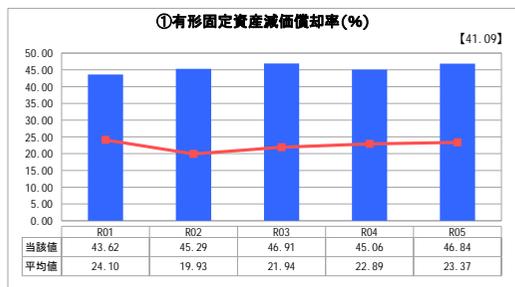
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ・経常収支比率については100%以上となっており、収支は黒字になっている。これは、高資本費対策経費を繰入しているためではあるが、この操出基準は供用開始後30年までの施設が対象で、当町では、令和9年度以降は対象外となる。このことから、その後の指標には注意する必要がある。
- ・流動比率は100%以上で、短期的な債務に対する返済は改善し、また、企業債残高対事業規模比率についても、償還計画に基づき着実な改善が行われている。
- ・経費回収率が100%以上となっているが、これは、経常収支比率と同じく高資本費対策経費を繰入することで100%以上となっているため、操出基準の対象外となる令和9年度以降の指標に注意する必要がある。
- ・汚水処理原価については、使用料単価150円/m³より低くなっているが、引き続き維持管理費の削減に努めたい。
- ・施設利用率については、人口減等により使用水量

2. 老朽化の状況について

管渠は、最も古いもので建設から20年経過程度で、直ちに老朽化の問題があるわけではないが、将来の改築更新に係る財源確保に関して考えていく必要がある。

全体総括

本事業は、処理区域が中山間地域にあるため処理人口の割に整備管渠延長が長くなっている。そのため、管渠整備費が高額となり、建設時に借り入れた地方債の償還が現在も経営を圧迫しており、今後も約10年間はその状態が続く。

また、今後、処理施設や管渠の更新を考慮した中長期的な収支計画を策定し、料金改定の検証を行うことで健全な経営に繋げたい。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。